ホームページ用

2024年 望山荘だより 3月号

デイサービスだより

今回の施設内感染では、デイサービスの訪問サービスという形で介護しましたが、利用者様には大変なご不便をおかけしました。今年は２月２日から３日間、職員手作りの鬼が登場して、「鬼は外」「福は内」とかけ声と共におじゃみを投げて厄払いをしたのですが、コロナにはかないませんでした。今後、更に、感染対策に努めます。

望山荘2月節分の様子

施設長より一言

3月、待ちかねた春の到来だったのですが、望山荘ではコロナ感染の広がりがありまして、利用者様には本当に不自由な日々を過ごしていただくことになりました。身元引受人様、ご家族様も大変、心配されたことと思います。感染を早期に収束できませんで、誠に申し訳ありませんでした。感染した方は青柳院長が往診し、特効薬のラゲブリオを処方して重症化された方はいらっしゃいませんが、この場を借りてお詫びいたします。

今回は初動の遅れもありまして、利用者様11人、職員15人に感染が広がりました。詳細につきましては改めてお知らせしますが、感染の始まりは2月14日に職員が自己検査で陽性だったことに始まります。それで15日に職員と利用者様全員の抗原検査をしましたが、全員、陰性でした。そして、17日の検査で利用者様1人の陽性が判明しまして、施設内感染として対策を始め、利用者様は居室で過ごしていただきました。職員はマスク、グローブに加えてガウン、キャップ、フェイスシールドを付けて介護、感染した方やその可能性がある方を介護した時は、全部交換しました。

しかし17日の夕方には利用者様1人が発熱、抗原検査で陽性でした。コロナは症状が現れる1日前から強い感染力があるとのことです。その為、感染対策を取っていない13、14日に職員から利用者様が感染し、16日には利用者様から職員が感染したようで、19日に職員2人の感染が判明しました。

コロナのオミクロン株は昨年のデルタ株の3倍近い感染力があるとのことです。その為、感染対策を取ってからも、マスクをしない食事介助や口腔ケアの時に職員から利用者様へ、利用者様から職員へと感染の負の連鎖が起きたようです。それで、感染した利用者様を介護する職員と、感染していない利用者様を介護する職員とを分ける等して、感染対策を強化しました。このようにして、感染は2月29日にほぼ、終了しました。それで、3月7日に全員の抗原検査を実施しました。この時、利用者様1人が陽性でしたが、以前から発熱を繰返していた方でしたので新たな感染ではないということで、その方だけは感染対策を続け、施設全体の感染対策を終了しました。職員一同、今回のことを教訓に、今後の感染対策に生かします。今後とも、よろしくお願い致します。

施設感染対策の様子

医療法人社団望山会
有料老人ホーム望山荘
デイサービス緑の風
Tel0982　68-3510
fax0982　68-3511

望山荘